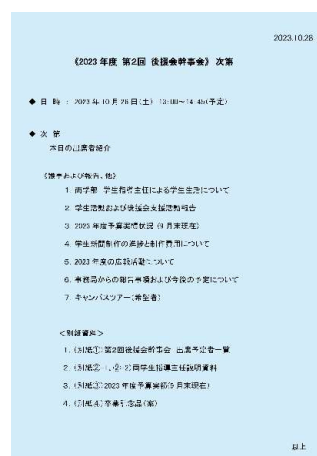


2023年度後援会 第2回幹事会開催報告

2023年度第2回幹事会は、10月28日(土)に湘南キャンパスに新設された206教室において4年ぶりに対面形式にて開催されました。

会の冒頭では、堀内湘南学生サービスセンター長より、湘南キャンパスの状況について説明があり、引き続き、経営学部学生指導主任の倉田教授ならびに情報マネジメント学部学生指導主任の中川教授より、各キャンパスにおける学生生活や課外活動等の様子についてご報告をいただきました。続いて、後援会事務局より、更に具体的に学生の活動や後援会が支援している活動および9月までの予算実績状況等について説明が行われました。幹事にとっては、上半期における学生の取り組み等について理解する良い機会となりました。

新型コロナウイルス感染症の蔓延を受け、産業能率大学でも長い歲月、対面式のイベントが見送られていましたが、幹事会の当日、瑞木祭実行委員会の学生達が野外ステージを設営している姿もあり、「学園祭の開催」が間近に迫ったことを実感する場面となりました。議事の最後、卒業生に贈呈する卒業記念品について、事務局より幹事への提案が行われ、審議の結果、承認されました。議事終了後は、湘南キャンパスの特長でもある第一グラウンドやビーチバレーコートを含めた「在学生によるキャンパスツアー」が行われ、幹事会は終始穏やかな雰囲気の中、無事終了いたしました。



第2回幹事会の次第



第2回幹事会の配布資料

学生新聞の制作と発行(自由が丘・湘南)

11月、インフルエンザの流行や新型コロナウイルス感染症の影響が未だ残ることから開催が見送られた保護者懇談会やCAMPUS VISIT DAY(授業参観)の代替として、昨年に引き続き保護者の皆さまからの好評を得ている学生新聞が自由が丘・湘南の両キャンパスで制作されました。

自由が丘キャンパス(経営学部)では、授業科目「エディター養成プログラム」が開講されていることもあり、印刷物の取材や編集を経験している学生も少なくありません。今回は、本制作に興味のある2年生2名、1年生4名が制作を担当し、昨年制作に携わった3年生1名がアドバイザーとなり、加藤教授の監修のもと、保護者の皆さまへお伝えしたい内容を中心に新聞を作成しました。

湘南キャンパス(情報マネジメント学部)では、今年度も学生団体である学生会執行部の学生が各方面への協力を仰ぎながら、打合せを重ね、先輩や教職員などへの取材調整から誌面構成まで奔走しました。何よりも保護者の皆様に「コロナ禍から変化した授業環境や学内行事の様子を少しでもリアルにお伝えしたい」という想いで制作を進めました。学生会執行部は元来、瑞木祭や大山登攀競技大会等の大学の一大行事において活躍しており、今回もその手筈に脱帽するような力を発揮した見応えのある新聞が完成しました。



自由が丘学生新聞制作メンバー



自由が丘学生新聞制作の様子



湘南学生新聞制作の様子



湘南学生新聞制作メンバー